

フィード・ワンのESG理念

「おいしさのみなもと」である「配合飼料」を核とする食のバリューチェーンを担う私たちの事業は、自然の恵みと社会基盤の上に成り立っています。人・社会・環境との調和を図り、経営理念と行動規範に基づく活動を通じて、すべてのステークホルダーの皆様から信頼を得られるよう努めるとともに、持続可能な社会の実現に貢献します。



E 事業を通じた環境問題解決

食品副産物・食品ロスを配合飼料原料として積極的に活用することをはじめとして、事業を通じて環境問題を解決することにより、企業と社会がともに持続的に発展し続けるよう取り組みます。

S 魅力ある職場づくり、社会との共生・共栄

ダイバーシティの推進や働きやすく働きたいのある魅力ある職場づくりに努めます。また、地域社会との共生を図り、人々の食生活が豊かになるよう、教育・支援・寄付などの社会支援を行います。

G ガバナンス強化

社会から信頼される企業であり続けるため、コーポレート・ガバナンスの更なる強化を図り、全社的ガバナンス体制の強化と適切な情報開示に努め、経営の客観性・透明性を確保してまいります。

・INFORMATION・

コーポレートサイト



サステナビリティ
サイト



各種認証等



X公式アカウント



フィード・ワン 株式会社

本社所在地：神奈川県横浜市西区みなとみらい5丁目1番2号

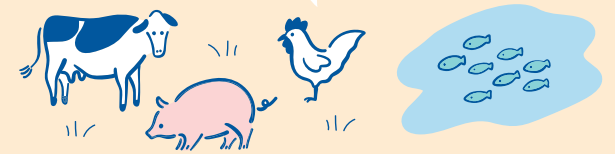
ホームページ：https://www.feed-one.co.jp/



FEED ONE SUSTAINABILITY ACTION

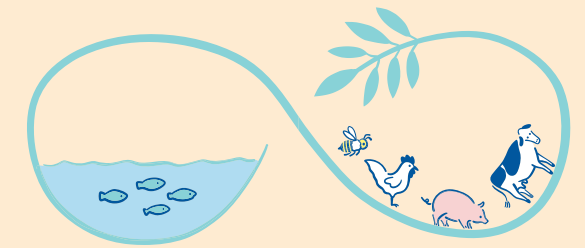


フィード・ワンとは



畜産・水産業において飼育される鶏・豚・牛・魚などに与える餌（配合飼料）を製造し、日々お届けしています。
配合飼料は畜種や発育段階毎に、とうもろこし・魚粉・食品副産物などの原料を組み合わせ、最適な栄養バランスや形状に製造し、給与されています。

フィード・ワンの経営理念



PURPOSE

飼料で食の未来を創り、命を支え、笑顔を届ける

MISSION

一粒万倍（いちりゅうまんばい）

VISION

「1“ONE”」にこだわり、選ばれる企業へ

VALUES

常に顧客・消費者の目線でニーズ・課題を捉え、問題解決に取り組みます。
安心安全な食の提供に向けて、コンプライアンス経営を徹底します。
高い専門性を持ち、時代の変化を捉えて常にチャレンジする人材を育成します。
「思いやりを持つこと」「Fairであること」「謙虚であること」を常として、社会の信頼に真摯に応えます。

FEED ONE SUSTAINABILITY ACTION

サステナビリティの取り組み

01 食品副産物の有効活用

食品を生産する過程で発生するふすまや大豆油かすなどを食品副産物と呼びます。食品として利用できない食品副産物を配合飼料原料として活用することで、限りある食資源を有効利用しています。



02 サステナブル飼料の開発

水産飼料について

水産飼料の原料には、天然資源（天然魚）由来の魚粉が使われています。魚粉を低減した低魚粉飼料や魚粉を使わない無魚粉飼料を開発・販売することで、天然資源の保護に寄与しています。

畜産飼料について

地球温暖化の原因のひとつとされる牛のげっぷに含まれるメタンガスを低減する飼料の他、土壌への環境負荷低減や家畜の糞量低減に寄与する飼料等の研究・開発を行っています。



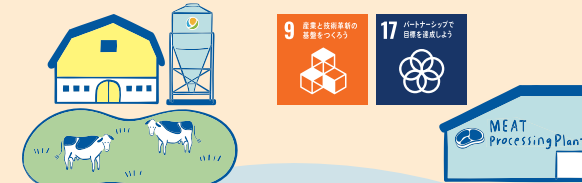
03 CO₂排出量の削減

工場の省エネルギー化をはじめ、サプライチェーン全体での低炭素化および脱炭素化を推進することで、2050年度の「サプライチェーン全体でのカーボンニュートラル」を目指します。



04 畜産・水産業への新技術導入

配合飼料メーカーとして初めて乳牛ゲノム解析サービスを導入し、遺伝的なポテンシャルを最大限に生かす飼料の提案を行っています。家畜や養殖魚の飼養技術の研究・開発にも取り組み、畜産・水産業の持続的発展に貢献しています。



05 食品ロスの有効利用

コンビニなどで消費期限切れとなったお弁当や飲食店で発生する食べ残しなどを配合飼料原料として活用しています。「食品ロス」も大事な資源として無駄にしません。



07 健康経営

オンラインストレッチやウォーキングイベントによる健康意識の醸成とともに、社内コミュニケーションの活性化を図っています。その他にも、健康経営に関するKPIを設定し、社員の健康管理に寄与する様々な取り組みを行うことで、社員が健康に長く働き続けられる職場づくりを推進しています。



06 One's Work (食育、キャリア教育支援等)

学校を対象に食育講習会を開催することで、食に関する知識や食を選択する力を養うお手伝いをしています。また、職業体験の受け入れを行い、配合飼料から始まる食品業界全体を学ぶ機会を提供することで、将来を担う若者のキャリア教育支援を行っています。

